

# 産業交流部会 NEWS

2019年9月1日

産業交流部会では、農林業分野、商工業分野、観光分野等の課題を扱っています。これは、伊賀市総合計画のジャンル分けも視野に、昨年度までのまち協の取り組みの反省の上に、改めて柘植地域の課題を整理することから始めようとするものです。

今年度は、昨年度生活環境部会で扱っていたテーマも再編し、産業交流部会として、市や県等の専門機関や行政機関の協力を得て、さまざまな内容について研修を計画しています。

部会員はもちろんですが一人でも多くの住民のみなさまにも情報を提供しながら、ともに各区・柘植地域全般の課題を明確にしていきたいと考えます。

## まち協事業のヨコのつながりを深めるために

7月20日の事業連携交流会議で部会の取り組み概要等を報告しました。他の部会や実行委員会からも現状や課題を出していただき、産業交流部会としても協力できるところはしていきたいと思いません。



## 里山整備から始めよう、林業新時代

7月25日（木）午前、「みえ森と緑の県民税」に基づく三重県や伊賀市の事業の紹介や今年4月から試行された森林制度についての説明を聞きました。今後、森林管理は所有者の責任が問われるとともに、行政が仲介役となり森林所有者と担い手を繋ぐシステムが推進されることとなります。



なお、伊賀市の「みんなの里山整備活動推進事業補助金」については、「柘植地域各区からの申請数が低く、ぜひ積極的に申請してほしい」との話がありました。

せっかくの制度をうまく活用して環境整備を進めていただければと思います。



## 獣害被害を減らすために・・・チーム戦術を練ろう



8月7日（水）午後、有害鳥獣についての対策を考える研修会を開催しました。

サルについては、現在、県が頭数管理している状況が報告されました。柘植地域の東部（加太側）は、約17頭のグループ（伊賀C）が生息しています。狂暴なサルについては数



裏面に続く

年前に既に駆除済みであり、伊賀C集団としてはGPS機能により、だいたいの位置は把握可能です。しかしGPSのついていない個々のサルの行動については予測等が難しい為、発見しだい情報共有を図り、チーム戦術で追い払いを進めなければなりません。

追い払い用の煙火については、たちまち必要なところから各区を通じて配布しておりますが、情報共有のための「**さるドコネット加入**」は進んでいません。多くの方の加入をお願いします。(PCまたはスマホをお持ちの方なら加入できます。お問い合わせください。)

追い払い煙火は区長様を通じて、古いものから使用するように、またその使用実績(必要度)に応じて配布するようにしています。

最近、野村区でのイノシシ被害問題が大きな話題となり、山出区が管理していたオリ1基を野村区地内へ移転することとし、その効果を確認することとしました。

追い払いだけでは獣害は減りません。捕獲をめざすために、法に基づく捕獲を推進するために、免許所有者を増やすことも課題です。総じて、点を線に、線を面に、と柵植地域内のネットワークを充実させていくことをめざしています。



## 柵植の歴史資産をどう生かすか？

8月18日(日)午後、柵植公民館(歴史民俗資料館)→中柵植の斎宮芝→野村の横光利一の跳ね釣瓶の庭→山出の芭蕉生誕宅跡を訪ねました。

歴史民俗資料館には、連句の特別展が開催されてきました。また昔の電話機や食事に使う道具など、実物がすぐみられるのは伊賀市内で唯一の場所です。加えて、2階には、松尾芭蕉、横光利一、橋本策の貴重な文献なども展示されています。(しかし、この柵植公民館も将来はなくなる予定となっています。)

その後で、訪問した史跡では、草が生い茂り十分な管理が出来ていないところもありました。観光面では大きな課題であることがわかりました。

※ 研修パート2は、柵植駅関連・道の駅等の現地踏査を秋以降に予定しています。



## 柵植地域の商工業について考えました！

8月23日(金)夜、伊賀市商工会伊賀支部長の平田正彦さんを囲んで、柵植地域の商工業の変遷を概観しました。柵植地域全体の地図を見ながら、戦後から昭和40年代にかけて、さまざまな事業者がいたことがわかりました。今後は人口減少がますます進むことが予想され、経済発展については難しい時代ですが、せっかくある柵植駅や草津線を活かしていくことが糸口になるのではないかとのお話がありました。

ちょうど柵植駅は来年で開業130周年・・・。

『まちづくり計画』を見直すときの一つの観点になるのではないのでしょうか？



**農業分野についての研修会・懇談会**を11月以降に計画しています。

日程等が決まり次第、ご連絡しますのでぜひともご参加をよろしく申し上げます。

**お問い合わせ** 産業交流部会長(西田方計; 090-1982-3750)